



中小企業・小規模事業者のための無料の経営相談所

よろず支援拠点 注目の相談事例

ご相談は、「三重県産業支援センター よろず支援拠点」まで ☎059-228-3326

コロナ禍に負けない！ テーマパーク型温泉が目指す “非対面サービス”への挑戦

四日市温泉 おふろcafé 湯守座

(株式会社旅する温泉道場)

代表取締役社長 宮本 昌樹

住 所 四日市市生桑町311番地 電 話 059-332-2611
H P <https://ofurocafe-yumoriza.com>

日帰り 時間制コース10:00～26:00(最終受付25:00)

営業時間 フリータイムコース10:00～翌9:00(最大23時間滞在可能)
深夜2:00～5:00の間は清掃のため入浴不可



平成29年に新しいコンセプトの温泉施設として生まれ変わってからは若い年齢層の開拓にも成功した。併設する芝居小屋では月替りで全国から人気の一座が来場し、大衆演劇を無料で楽しむことができる。

相談内容・きっかけ

コロナ禍への対応として、 お客さまとの接触機会を減らしながら 魅力的な取組を推し進める方法を模索

「四日市温泉 おふろcafé 湯守座」は“現代の芝居小屋”をコンセプトに、長時間の滞在にも対応した新しいスタイルの温浴施設です。平成29年に「天然温泉ユラックス」から新しく生まれ変わりました。

館内には温泉や東海地区最大規模を誇る大衆演劇場、お食事処や宿泊施設を併設しており、「温泉テーマパーク」として、人気を呼んでいました。しかし、令和2年からは新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けるようになりました。

そうした状況の変化に対応して、お客さまとスタッフの接触機会をできる限り減らしながら顧客にとって魅力的な取組を推し進め、さらにそれら施策をどのように集客力及び売上向上に繋げていくかが経営上の大きな課題と考えています。

四日市商工会議所へのご相談をきっかけに、ものづくり補助金の活用の可能性や、販路拡大・ITDX活用を考える上で、よろず支援拠点にご相談をいただきました。



さまざまなサービスを提供して、長時間滞在して楽しむことができるスタイルの温浴施設。

支援内容

実現可能なプランを提案。 館内での利用料金のキャッシュレス化など 事業内容をブラッシュアップ

担当コーディネーターとして、ものづくり補助金等の活用だけでなく、事業内容に新たなエッセンスのアイデア出しをして、実現可能なプランを共に進めました。

「四日市温泉 おふろcafé 湯守座」は入館料のみで入浴や大衆演劇の自由席での観劇をはじめ、お菓子まき・ビンゴ・ワークショップ・ボードゲームなども無料で楽しめるシステム。しかし有料のサービスもあり、以前の精算システムでは退館時にスタッフによる現金受け取りが発生し、1時間に1回現金合わせをする必要があったため、労働生産性にも課題を残していました。

今回ICタグ付きリストバンドを使って「館内利用全てキャッシュレス化」し、退館時に一括自動精算できるシステムの導入を計画。新POSシステムの導入ではキャッシュレス化だけでなく、顧客満足度向上を目指し、お客さまが入館時に会員カードを活用することで過去の利用状況やお名前などの顧客情報を把握できるようになり、デジタル化へと一新。顧客の行動パターンに応じたサービスの提供や、集客における効果的なマーケティングが可能となるようにして、戦略的な販売促進計画の策定を支援しました。



退館時の一括自動精算システムなど、接触機会を減らす取組を導入している。



コーディネーターからのコメント

キャッシュレス化の推進で日常業務を大幅に短縮。 顧客サービスの充実に充てることができるように

キャッシュレス化を推進することにより、顧客満足度を向上させるだけでなく、日常業務を大幅に短縮。労働生産性が高まり、短縮した時間を顧客サービスに充てることで人員の効率的配置が可能となりました。レストランでの注文はタブレット端末でセルフオーダーが可能になり、スピーディに食事の提供ができることでスタッフの労働生産性と顧客満足度向上に繋がりました。

よろず支援拠点では、商工会議所・商工会等経営支援機関とも連携し、販路拡大・施策活用など事業者様のさまざまな悩み解決の支援を行っています。

まずはお気軽にご相談ください。



よろず支援拠点
担当コーディネーター
高垣 和郎
Takagaki Kazuo



東海地区最大規模を誇る大衆演劇場を併設。芝居や舞踊、歌謡ショーなどの演目が上演される。自由席は入館料のみで観劇可能。